

【電磁場と電磁波（周波数応答） 中間試験】

図のように抵抗  $R$  とコイル  $L$  を直列接続したシステムに交流電流

$$I(t) = I_0 \cos(\omega t) = \text{Re}[\tilde{I}_0 e^{i\omega t}]$$

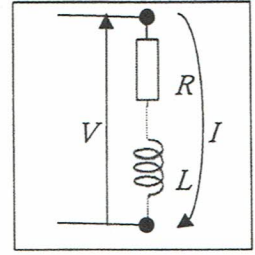
が流れるとき、その両端の電圧が

$$V(t) = V_0 \cos(\omega t + \theta) = \text{Re}[\tilde{V}_0 e^{i\omega t}]$$

となるという。

抵抗の両端の電圧と流れる電流の関係は  $V_R(t) = R I(t)$  であり、コイルの両端の電圧と

流れる電流の関係は  $V_L(t) = L \frac{dI}{dt}$  である。



1.  $V(t) = V_R(t) + V_L(t)$  と  $I(t)$  の関係を表す微分方程式を書け。

$$V(t) = RI(t) + L \frac{dI}{dt}$$

2. 問1の解答の微分方程式により表される系（入力に電流、出力は電圧）が、線形かつ時不変であることを示せ。

線形性： $V_1(t) = RI_1(t) + L \frac{dI_1}{dt}$ ,  $V_2(t) = RI_2(t) + L \frac{dI_2}{dt}$  の両辺にそれぞれ実数  $a_1$  と  $a_2$  を掛けて辺々を加えると

$$a_1 V_1 + a_2 V_2 = RI_1(t) + RI_2(t) + L \frac{dI_1}{dt} + L \frac{dI_2}{dt} = R(a_1 I_1 + a_2 I_2) + L \frac{d}{dt}(a_1 I_1 + a_2 I_2)$$

時不変性： $t = t' + \tau$  とすると、 $\frac{dI(t')}{dt} = \frac{dI(t')}{dt'} \frac{dt'}{dt} = \frac{dI(t')}{dt'}$  より、 $V(t') = RI(t') + L \frac{dI(t')}{dt'}$

3. 問1の微分方程式が定める電流と電圧の関係を、複素電流振幅と複素電圧振幅の関係 ( $\tilde{V}_0 = \tilde{Z}(\omega) \tilde{I}_0$ ) として書いたときの複素インピーダンス  $\tilde{Z}(\omega)$  を求めよ。

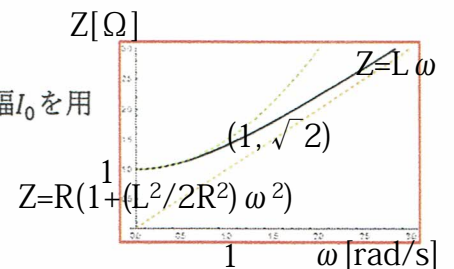
$$\tilde{V}_0 = R \tilde{I}_0 + Li\omega \tilde{I}_0 = (R + i\omega L) \tilde{I}_0 \rightarrow \tilde{Z}(\omega) = R + i\omega L$$

4. 複素インピーダンスの大きさ  $Z(\omega) = |\tilde{Z}(\omega)|$  を  $R$  と  $L$  を用いて表せ。また  $R = 1\Omega$ ,  $L = 1\text{H}$  のとき  $Z(\omega)$  の変化を示すグラフを描け。

$$Z(\omega) = \sqrt{R^2 + \omega^2 L^2}$$

5. 電圧  $V(t)$  の振幅  $V_0$  と位相角  $\theta$ （のタンジェント）を  $R$  と  $L$  および電流の振幅  $I_0$  を用いて表せ。

$$V_0 = \sqrt{R^2 + \omega^2 L^2} \times I_0, \quad \tan \theta = \omega \frac{L}{R}$$



6. 電流波形が単一の振動数のサイン波ではなく、 $I(t) = I_1 \cos(\omega t) + I_2 \cos(2\omega t)$  であるとき  $V(t)$  はどのような波形になるか、 $I_k$  と  $\tilde{Z}(k\omega)$ ,  $k = 1, 2$  を用いて示せ。また、この解答では系のどのような性質を用いたかを記せ。

$$V(t) = V_1 \cos(\omega t + \theta_1) + V_2 \cos(2\omega t + \theta_2)$$

$$V_k = |\tilde{Z}(k\omega)| I_k, \quad \tan \theta_k = \text{Arg}[\tilde{Z}(k\omega)]$$

系の線形性を用いた。

7. 電流波形が  $I(t) = I_0 \cos(\omega t + \alpha)$  のとき、電圧波形はどのようなになるか、 $V_0 \cos(\omega t + \theta)$  と  $\alpha$  を用いて表せ。また、この解答では系のどのような性質を用いたかを記せ。

$$I(t) = I_0 \cos(\omega t + \alpha) = I_0 \cos(\omega(t + t_0)), \quad \alpha = \omega t_0$$

$$V(t) = V_0 \cos(\omega(t + t_0) + \theta) = V_0 \cos(\omega t + \theta + \alpha)$$

系の時不変性を用いた。